

2026年 初夏

芦屋市谷崎潤一郎記念館 現地講座

# 谷崎の愛した京の豪邸

「夢の浮橋」の舞台になった非公開の潺湲亭をご案内いたします



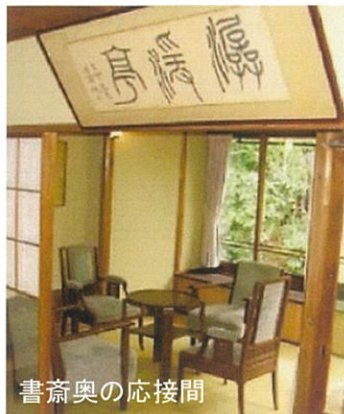
路地と中門



玄関



庭から母屋を望む



書齋奥の応接間

## 谷崎文学と名建築にふれる現地講座

谷崎潤一郎が戦後暮らした潺湲亭(現・石村亭:京都市左京区)を訪ねます。潺湲亭は、世界遺産の下鴨神社・糺の森に隣接する築100年を超える閑静な邸宅です。2000平方メートルもの敷地には、池を中心に御殿風の母屋や書齋、茶室などが巡らされています。

谷崎は1949年から1956年まで暮らし、「少将滋幹の母」「新訳源氏物語」「鍵」などを執筆。静岡県熱海市に引っ越した後も愛着は深く、小説「夢の浮橋」の舞台にするほどでした。普段は非公開のため、解説付きでゆっくり見学できる貴重な機会です。名建築をお楽しみ下さい。

日 程 2026年 5月28日(木)

コ ー ス ①午前10:10 集合(12:00 終了予定)

②午後 1:30 集合( 3:20 終了予定)

コースの振り分けはこちらでさせていただきます

集合場所 京阪電車 出町柳駅(⑥号出口)

駅から糺の森を通り、現地に向かいます(徒歩約15分)

定 員 各14人(要予約)

受 講 料 3,000円(交通費は自己負担)

※潺湲亭訪問に際するお願い

動画撮影、録音、三脚の使用ならびに室内の写真撮影はできません  
邸内では先の尖ったヒールの履物をご遠慮いただいております

※参加者の方の個人情報は個人情報保護法及び当館を運営する小学館集英社プロダクション共同体の個人情報取り扱い方針に基づき厳重に管理し、適正に取り扱います

協力 日新電機株式会社

申込・お問い合わせ 芦屋市谷崎潤一郎記念館

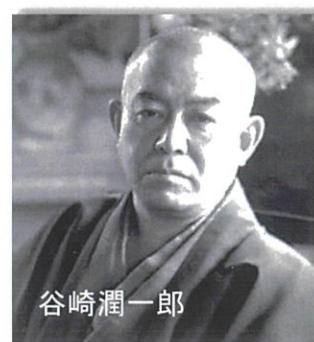
Tanizaki Junichiro Memorial Museum of Literature, Ashiya



〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12の15

TEL 0797(23)5852 FAX 0797(38)3244

e-mail [ashiya-tanizakikan@shopro.co.jp](mailto:ashiya-tanizakikan@shopro.co.jp) ホームページ <https://www.tanizakikan.com/>



谷崎潤一郎